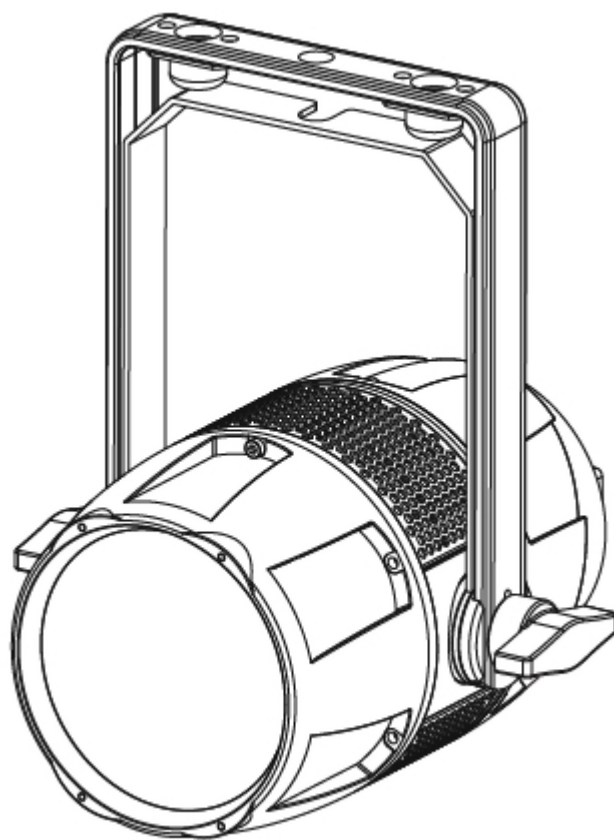


Acme[®]

STAGE PAR TUNGSTEN

BL-100 WW2



取扱説明書



目次

1. 安全ガイド
2. 技術仕様
3. インストールと接続
4. 本体の設定方法
 - 4.1 リアパネル
 - 4.2 主な機能
5. 本体の制御方法
6. DMX512構成
7. DMX512接続
8. 故障処理
9. メンテナンス

1. 安全ガイド



警告

本製品をご使用になる前に、この説明書を必ずよくお読みください。

単なる使用方法だけでなく、より永く安全にお使いいただくための諸注意事項が記載されています。後で参照するために、この説明書は常に本体に近い場所に保管しておいてください。もしも本製品を他に人に譲る場合は、必ずこの説明書を付属してください。

- 運開梱してから、器具を使用する前に輸送上の損傷がないことを確認してください。
- 保守作業の前に主電源を切断してください。
- 本製品は発熱します。設置する場合には少なくとも天井面や壁面等から 50 c m 以上離してご使用ください。また、設置する際ファンの排気口がふさがれていないかどうかをよくご確認ください。
- 本製品の最大環境温度は 4 0 °C です。設置前に温度環境を計り、これ以下温度の場所に設置してください。
- デバイスを調光パックに接続しないでください。
- ハウジングは、目に見える損傷があれば交換する必要があります。
- 本体表面温度が 85°C まで上昇することがあります。手でハウジングに触れないでください。
- フィクスチャ内には、ユーザーが修理できる部品はありません。ハウジングを開けたり、あなた自身で修理してください。万が一、修理が必要な場合は最寄りの販売店にご連絡ください。
- 重大な操作上の問題が発生した場合は、直ちに使用を中止してください。修復しようとししないでください

あなた自身でフィクスチャー。未熟練者が行った修理は、損傷や故障の原因となりま

AC 220~240V 電源の場合、接続可能な最大のフィクスチャー

1本の電源ケーブルには 20 本（最初の固定具を含む）です。

AC 100~120V 電源の場合、接続できる最大のフィクスチャー

1本の電源ケーブルは 15 本（最初の固定具を含む）です。

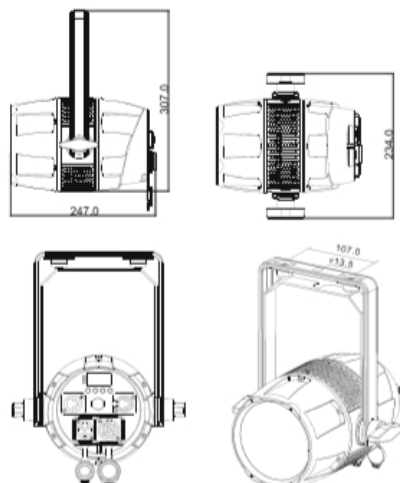
す。お願いします。

最寄りの認定技術サポートセンターに連絡してください。常に同じタイプのスペアパーツを使用してください。

2. 技術仕様

- ◆ 調光、ストロボ
- ◆ プロフェッショナルステージ、コンサート、クラブ、ディスコ、モバイルDJなどに最適です。
- ◆ 入力電源： AC100~240V、50/60Hz

- ◆定格消費電力： 115W
- ◆光源： CREE LED
- ◆ズーム角： 50°
- ◆重量： 3.5 k g
- ◆サイズ： 247 x 234 x 307mm
- ◆IP グレード： IP65



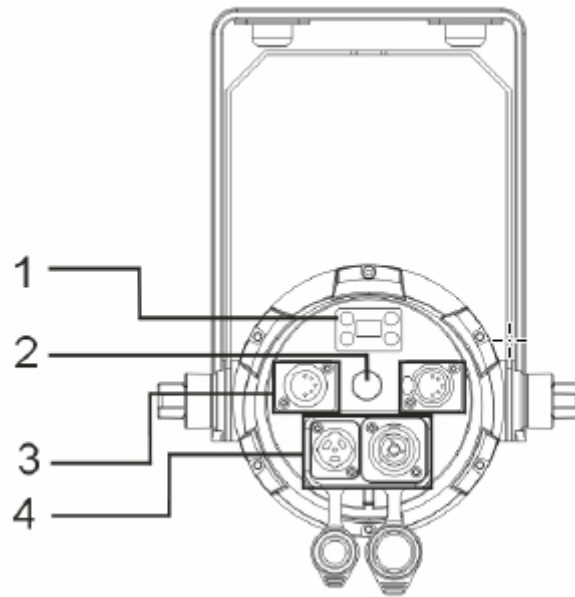
3. インストールと接続

照明器具はブラケットにネジで固定する必要があります。運転中のチャタリングを防ぐために確実に取り付けてください。また、フィクスチャを固定するブラケットが安定していて、機器の10倍以上の重量を支えることができることを確認してください。同時に、機器を設置するときは、製品の12倍の重量を支えることができる安全ロープを使用してください。機器は専門家が設置する必要があります。装置は人体に設置して触れないでください歩行者が通り過ぎる場所や座る場所はありませんランプの設置高さは0~30Mです。

4. 本体の設定方法

4.1 リアパネル

1. ディスプレイ&ボタン



MENU	選択機能
DOWN	次のメニューを選択
UP	前のメニューを選択
ENTER	選択した機能を確認する

2. 換気カット

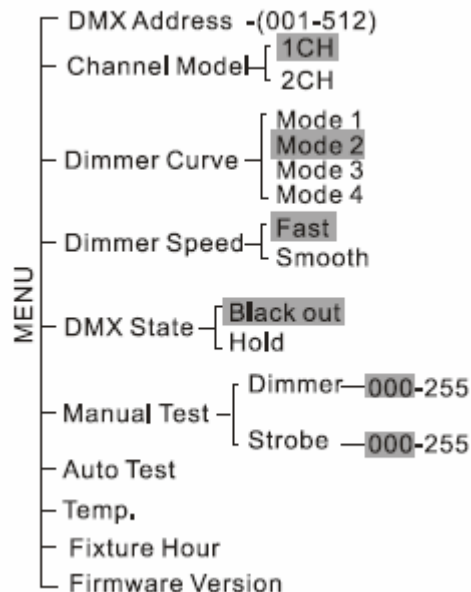
3. DMX IN/DMX OUT:

DMX 512 接続の場合は、3/5 ピン XLR ケーブルを使用して DMX 信号を入力し、次の器具に接続します。

4. 電源入力/出力

4.2 主な機能

プリセット機能を選択し、MENU ボタンを押して希望のメニューオプションを選択してください。ENTER ボタンを押して選択した機能に入り、次に UP / DOWN ボタンを使って希望の機能を選択し、ENTER ボタンを押して確認します。または 8 秒間待ってから自動的にメニューモードを終了します。メインメニューに戻るには、MENU ボタンを押します。主な機能は次のとおりです。



DMX 512 アドレス設定

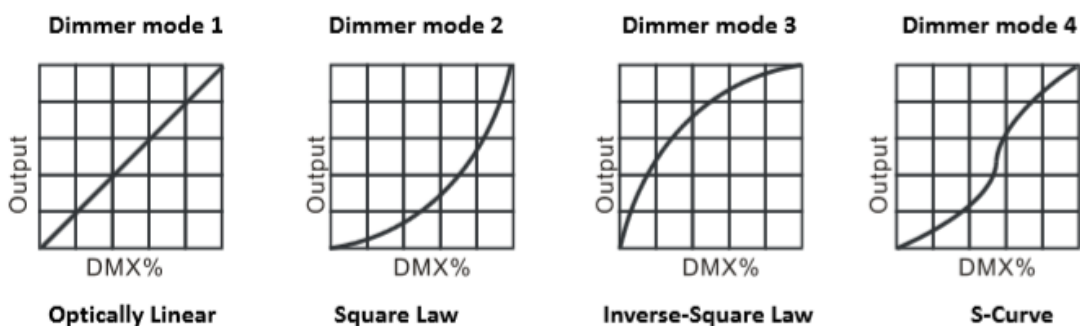
DMX アドレスを選択し、ENTER ボタンを押すとディスプレイが点滅します。DOWN と UP ボタンを使って DMX 512 アドレス (001-512) を変更します。アドレスが選択されたら、ENTER ボタンを押して、8 秒後に自動的に変更せずにメニューモードを設定または終了します。変更せずに前の機能に戻るには、MENU ボタンを押します。

チャンネルモデル

Channel Mod1 を選び、ENTER ボタンを押す。DOWN および UP ボタンを使用して 1CH / 2CH / 4CH チャンネルモードを選択します。選択されたら、ENTER ボタンを押すと、8 秒後に変更なしでメニューモードを設定または終了します。変更せずに機能に戻るには、MENU ボタンを押します。

ディーマーカーブ

Dimmer Curve を選び、ENTER ボタンを押す。上下ボタンを使用してモード 1...モード 4 を選択します。選択したら、ENTER ボタンを押して、8 秒後にメニューモードを変更せずに設定または終了します。変更せずに機能に戻るには、もう一度 MENU ボタンを押します。



モード 1 (光学的に線形) : DMX 値が増加するにつれて光強度の増加は線形であるように見える。

モード2 (2乗法) : 光量制御は、低レベルでは細かく、高レベルでは粗くなります。
モード3 (逆二乗則) : 光量制御は低レベルでは粗く、高レベルでは指が粗くなります。
モード4 (S-cure) : 光量制御は、低レベルと高レベルでは指、中レベルでは粗くなります。

ディマースピード

Dimmer Speed を選び、ENTER ボタンを押す。 DOWN および UP ボタンを使用して、Fast / Smooth / Und (タングステンフィラメント効果) を選択します。選択したら、ENTER ボタンを押して、8秒後にメニューモードを変更せずにセットアップまたは終了します。変更せずに機能に戻るには、もう一度 MENU ボタンを押します。

DMX の状態

DMX State を選択して、ENTER ボタンを押す。 DOWN と UP ボタンを使用してブラックアウト/ホールドtを選択します。選択されたら、ENTER ボタンを押して8秒後に変更を加えずにメニューモードを設定または終了します。変更せずに機能に戻るには、もう一度 MENU ボタンを押します。

周波数

周波数を選択し、ENTER ボタンを押します。上下ボタンを使用して 900Hz /...1500Hz / 2500Hz / 4000Hz / 5000Hz / 10000Hz / 15000Hz / 20000Hz / 25000Hz を選択したら、ENTER ボタンを押して、8秒後に変更を加えずにメニューモードを設定または終了します。変更せずに機能に戻るには、もう一度 MENU ボタンを押します。

手動テスト

手動テストを選択し、ENTER ボタンを押します。 DOWN および Dimmer Fine / Strobe を選択するには、DOWN および UP ボタンを使用します。0~255 の値を選択し、ENTER ボタンを押すと、8秒後に設定を変更することなくメニューモードを自動的に終了または終了できます。変更せずに機能に戻るには、MENU ボタンを押します。

自動テスト

自動テストを選択し、ENTER ボタンを押すと、ユニットは内蔵プログラムによる自己テストを実行します。機能に戻るには、MENU ボタンをもう一度押します。MENU ボタンを約1秒間押したままにするか、1分間待ってメニューモードを終了します。

温度

温度を選択し、ENTER ボタンを押すとディスプレイに温度が表示されます。機能に戻るには、MENU ボタンを押します。

フィクスチャ時間

フィクスチャ時間を選択し、ENTER ボタンを押すと、ディスプレイにユニットの稼働時間数が表示されます。機能に戻るには、MENU ボタンを押します。

ソフトウェアバージョン

ソフトウェアのバージョンを選択し、ENTER ボタンを押すと、ディスプレイに本機のソフトウェアのバージョンが表示されます。機能に戻るには、MENU ボタンを押します。

工場リセット

出荷時設定へのリセットを選択します。DOWN および UP ボタンを使用して YES を選択します。器具は出荷時設定を復元します。機能に戻るには MENU ボタンを押します。

5. 本体の制御方法

1. DMX コントローラによって

新しい DMX アドレス設定はすぐに影響を受けるため、DMX アドレスを変更したときに本機の電源を切る必要はありません。DMX 信号の下で、ユニットの電源を入れると、LED に保存されているチャンネルアドレス (001-512) が表示されます。

6. DMX512 構成

チャンネルモード

1Channel model

Channel	Value	Function
1	0-255	Dimmer 0→100%

2Channel Mode

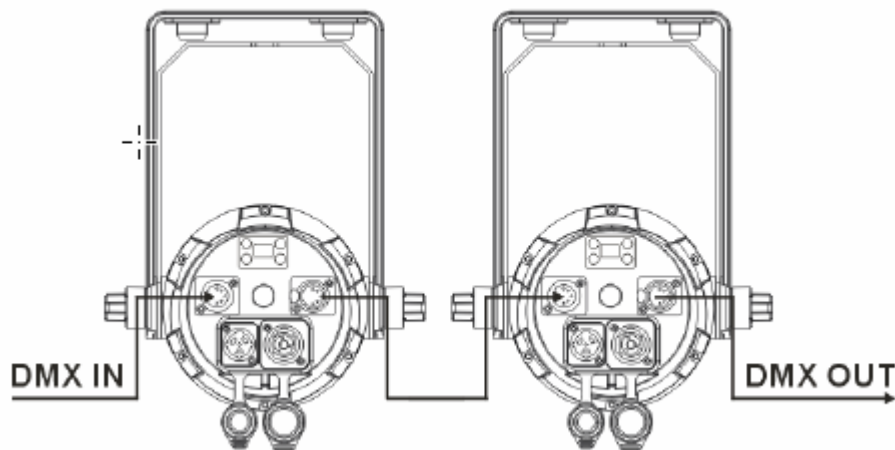
Channel	Value	Function
1	0-255	Dimmer 0→100%
2 Flash	0-5	Open
	6-123	Flash Rate,slow to fast
	124-127	Open
	128-168	LED random strobe(speed1)
	169-208	LED random strobe(speed2)
	209-249	LED random strobe(speed3)
	250-255	Open

4Channel model

Channel	Value	Function
1	0-255	Dimmer 0→100%
2	0-255	Dimmer Fine
3 Flash	0-5	Open
	6-123	Flash Rate,slow to fast
	124-127	Open
	128-168	LED random strobe(speed1)
	169-208	LED random strobe(speed2)
	209-249	LED random strobe(speed3)
	250-255	Open
4 Dimmer Speed	0-063	According to the menu
	064-127	Fast
	128-191	Smooth
	192-255	Und

7. DMX512 接続

モード接続：



1. フィクスチャの出力から次のフィクスチャの入力へ、XLR プラグケーブルでフィクスチャをまとめて接続します。ケーブルを「Y」ケーブルに分岐または分割することはできません。不適切または損傷したケーブル、はんだ付けされた接合部、または腐食したコネクタは、信号を容易に歪ませ、システムをシャットダウンする可能性があります。
2. DMX 出力および入力コネクタは、次の場合に DMX 回路を維持するためにパススルーです。ユニットの電源が切断されている
3. 最後の治具では、信号エラーを減らすために DMX ケーブルをターミネータで終端する必要があります。2 番ピン (DMX-) と 3 番ピン (DMX +) の間の $120\ \Omega$ / 4W 抵抗を 5 ピン XLR プラグに半田付けし、最後のフィクスチャの DMX 出力に差し込みます。
4. 各照明器具には、コントローラーから送信されたデータを受信するためのアドレスを設定する必要があります。アドレス番号は 0~511 です (通常 0&1 は 1 です)。
5. 5 ピン XLR コネクタ：。 5 ピン XLR：ピン 1：GND、ピン 2：負の信号 (-)、ピン 3：正の信号 (+) 4：空白 5：空白

8. 故障処理

以下は、操作中に発生する可能性があるいくつかの一般的な問題です。簡単なトラブルシューティングのためのいくつかの提案はここにあります。

- A. 据え付け品は働きません、ライト無し
1. 電源とメインヒューズの接続を確認してください。 2. メインコネクタの電源電圧を測定します。
- B. DMX コントローラーに応答しない
1. DMX LED が点灯するはずですが、そうでない場合は、DMX コネクタ、ケーブルをチェックして正しくリンクされているかどうかを確認します。 2. DMX LED が点灯していてもチャンネルに応答しない場合は、アドレス設定と DMX 極性を確認してください。
 3. 断続的な DMX 信号の問題がある場合は、フィクスチャまたは以前のもののコネクタまたは PCB のピンを確認します。 4. 他の DMX コントローラーを使用してみてください。
 5. DMX ケーブルが、DMX インターフェース回路に損傷や干渉を引き起こす可能性のある高電圧ケーブルの近くに走っているか、それと平行に走っているかを確認します。

9. メンテナンスとクリーニング

内部の清掃は、光出力を最適化するために定期的に行なう必要があります。清掃の頻度は器具の動作環境によって異なります。湿気のある場所、煙の多い場所、または特に汚れた周囲の場所は器具の光学部品に汚れがたまる可能性があります。柔らかい布で通常のガラス製洗浄液を使用して拭きます。常に部品を慎重に乾かしてください。少なくとも20日ごとに外部光学部品を清掃してください。少なくとも30/60日ごとに内部光学部品を清掃してください。

適合宣言

当社の製品（照明器具）は、以下の仕様を満たしており、電磁適合性（EMC）指令 2004/108 / EC の規定に従って CE マークを取得しています。

EN55103-1 : 2009; EN55103-2 : 2009;

EN61000-3-2 : 2006 + A1 : 2009 + A2 : 2009;

EN61000-3-3 : 2008。

そして、
標準調和

EN 60598-1 : 2008 + A11 : 2009; EN 60598-2-17 : 1989 + A2 : 1991;

EN 62471 : 2008; EN 62493 : 2010

家庭電化製品および類似の電気製品の安全性

パート 1 : 一般的な要件